



おいしかったよ！葱油餅

3月15日、富ヶ丘公民館にて、中国の家庭料理「葱油餅」作りを体験しました。講師は会員の丁虹静さん。餃子と違い、小麦粉をこねる時、油も入れることにビックリ！くるくる巻いて伸ばし、小麦粉が何層にもなります。間に小葱と調味料を入れ、フライパンで焼いて出来上がり。思ったより簡単で、とてもおいしかったです(^o^)

県日中の会員さんや富谷日中を知りたいという方も飛び入り参加で、楽しく会食しました。お料理上手な丁さんが富谷にいる間に、また家庭料理を楽しむ会を企画したいと思いますので、皆様ご参加ください。



|| 推奨図書 ||

Z世代は戦後初めて

銃をとる世代になるかもしれない

大人が始めた戦争を、戦うのは誰か
君たちはどのような選択をするのか
そのとき、君は戦いますか

本書は、(公社)日中協会の故・丹羽宇一郎前会長の遺作で、若い世代に「平和への願い」を託した一冊です。
著者 丹羽宇一郎 四六判 248頁
東洋経済新報社 1980年 (税込)



海南島へ行って来ましたよお〜④ 【老背包旅行者 長谷良悦】

昔、航空機の遅延や欠航でひどい目にあった体験がトラウマになっているので、帰国二日前に上海に到着し1日半観光しました。二日目、魯迅公園へ。記念館は月曜日なので残念ながら閉館日。まずは魯迅の墓参り。地図アプリ「高増」にナビしてもらいましたが、日本でgoogle mapを使うよりも使いやすかった。老夫婦が廟の銅像前で礼節をわきまえたお参りをしていましたので、私も見習って低頭後に奥の墓前に進み手を合わせました。



魯迅廟

次に、日中友好のシンボルとなっている中日青年友好記念碑・時計台に向かいました。銘板には中国語と英語で刻まれていました。なぜ日本語が無いのだろうか？。(つづく)



中日青年友好記念碑・時計台



記念碑の銘板

英文訳：「時計の記念碑」

時計の記念碑は中国と日本の若者の友好的交流を記念して1984年に建立された。台座には中国の副主席「王震」が書いた碑文があり、「中国と日本の若者の友情は永遠に続く」と書かれている。